

クボタ、タイで農機用油圧機器の新工場を建設

Edited By LogisticsToday On 2012/07/23

クボタは23日、同社グループで昨年4月に設立したタイの油圧機器生産子会社「クボタプレジジョンマシナリー（タイランド）」（KPMT）が、現行工場に替わる新たな製造拠点を同国内に建設すると発表した。

新工場では、加工から組立までの一貫生産体制を整え、新たに油圧バルブ、トランスミッションの組立も行い、生産体制の強化を図る。今後は、米国など海外の生産拠点にも油圧機器を供給するグローバル供給拠点として活用する。

KPMTは農機の基幹部品である油圧機器の海外初の生産拠点として、2011年4月に設立。同年7月からトラクタ用油圧シリンダーなどの生産を開始し、タイ現地の農機生産拠点に供給してきた。

■新工場の概要

所在地：タイチョンブリ県ピントン工業団地

建屋面積：7800平方メートル

敷地面積：3.5万平方メートル

投資総額：3.9億バーツ（約10億円）

生産品目：生産能力トラクタ用油圧シリンダー12万台/年、油圧バルブ14万台/年、トランスミッション2万台/年（生産能力は2016年時点）

従業員数：170人（2016年末時点）

量産開始：2014年1月予定

Article printed from Logistics Today | 国内最大の物流ニュースサイト：<http://www.logi-today.com>

URL to article：<http://www.logi-today.com/35568>

Copyright © 2020 Logistics Today | 国内最大の物流ニュースサイト. All rights reserved.